

京都 近代の記憶

中川 理 著

場所・人・建築

▶ A 5 判・172頁／定価：本体 2,200円(税別) ISBN978-4-7842-1812-7

2015年8月刊行予定

京都はよく「千年のみやこ」と言われる。確かに平安京ができて千年以上たつ都市である。しかし、平安京の姿そのままの遺構など実はどこにも残されていない――。

東京遷都により没落の危機に見舞われ、都市改造や近代建築の導入に積極的に取り組む一方で、まさに生き残りを懸けて「千年のみやこ」を演じてきた街、京都。いまある京都の魅力はいつ、どのように作られたのか? 「歴史都市」の近代化の過程で生まれたさまざまなエピソードを、場所・人・建築をキーワードとして写真とともに綴る。

〇〇予定内容目次〇〇

はじめに――近代の記憶が詰まった都市――

I ■近代化の舞台となった岡崎

近代化を可視化した琵琶湖疏水／博覧会を契機として成立した歴史都市／財閥が彩る住宅文化／祝意を示す場 ほか

II ■場所と空間・建築

建築博覧会としての同志社キャンパス／スパニッシュと赤銅御殿／テーマパークだった銭湯 ほか

III ■歴史と空間・建築

公家街から御苑へ／小学校が語る町衆の近代／太鼓楼が伝えた近代／京電の痕跡 ほか

IV ■街に寄り添う様式

武徳殿が発信した「国風」／仏教寺院による洋風の受容／東洋趣味の近代デザイン／銀行建築の威厳／看板建築／町家の近代化 ほか

V ■京都モダニズム

町中へ拡がる近代／街を彩ったスクラッチ・タイル／古書店に残る「モダニズム」／逓信省の前衛／京都モダン ほか

VI ■基督教の文化

キリスト教がやってきた／英国がそのまま京都へ／米国メリノール会による教会堂建設／木造新技術の教会堂

VII ■近代を駆け抜けた建築家

武田五一が仕掛ける意匠／歴史都市にふさわしいデザインとは／建築のプロトタイプを作った建築家／台湾総督府技師の橋／二人の土木技師／様式を自在に操るヴォーリズ／モダニズムの実践者・富家宏泰 ほか

VIII ■保存と演出

東山は禿山だった／都市空間の再編と祝祭空間／橋梁に見る近代デザインの揺れ幅／景観演出としての嵐山の桜／五山あて／建築保存の発信地／歴史を「新築」する／守れるか四条烏丸交差点／保存手法の新たな展開 ほか

IX ■京都周辺のまち

舞鶴煉瓦倉庫／ホフマン窯／師団の街／実験住宅／畳敷きの教会堂／元県庁舎／琵琶湖ホテル ほか

おわりに



京都ハリストス正教会



拡築後の四条通 (絵葉書)

なかがわ・おさむ…1955年生。京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了。京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科教授。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	京都 近代の記憶	本体2,200円(税別)	ISBN978-4-7842-1812-7	
お名前		tel	本書HPのQRコード		
		e-mail			
ご住所	〒				
送本方法	代引(書籍代+消費税+送料400円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎				

水系都市京都 水インフラと都市拡張

小野芳朗編著

【2015年8月刊行予定】

「山紫水明」の地とたたえられる京都は、その美名とは裏腹に灌漑・防火用の表流水の欠乏に悩まされつづけた都市であった。そして琵琶湖疏水こそ、この問題を解決する画期的な事業だった。

近代京都の都市史を水量・水質・水利権などに着目して水インフラという視点から論じる一方で、同一水系に属する伏見が一度は独立市制を志しながら京都市へ合併される顛末を明らかにする。

【内容】第Ⅰ部 防火都市・農業都市の京都 京都・御所用水の近代化／都市経営における琵琶湖疏水の意義／水道インフラ整備
第Ⅱ部 大京都への都市拡大と伏見編入 栄光の伏見／大京都構想と大伏見市構想／伏見市制の挫折と京都市への編入プロセス

▶A5判・320頁／本体5,400円(税別)

ISBN978-4-7842-1815-8

近代京都研究

丸山宏・伊従勉・高木博志編

歴史都市・京都は、近代に大きく変わったまちであった。近代の京都には研究対象になる豊富な素材が無尽蔵にある。本書は、京都という都市をどのように相対化できるのか、普遍性と特殊性を射程に入れながら、近代史を中心に分野を超えた研究者たちが多数参加し切磋琢磨した共同研究の成果。

▶A5判・628頁／本体9,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1413-6

近代日本と地域振興 京都府の近代

高久嶺之介著

近代日本の地域社会の姿を、京都府下における、明治前期の京都官津間車道の開鑿・明治前期～中期にかけての琵琶湖疏水と鴨川運河の開鑿・明治初期～昭和の敗戦直後までの天橋立の保存とその振興・明治初期～昭和の敗戦直後にかけての童仙房村の開拓、という特定のテーマを取り上げ、地域振興の視点から考察する。

▶A5判・364頁／本体6,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1570-6

春秋 京大和翠紅館 平安から平成まで 京の雅

木村幸比古・中根史郎・中村昌生著／梅原猛序文

江戸時代には「翠紅館」と称された京都の老舗料亭京大和。その歴史・庭・建物を、カラー絵と解説で紹介。特に、江戸時代の翠紅館の姿そのままに大正時代に建てられた建物や敷内流の茶室について、和建築の第一人者である中村昌生氏が、多数の図面とともに詳述する。

▶B5判・80頁／本体2,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1417-4

京都 伝統工芸の近代

並木誠士・清水愛子・青木美保子・山田由希代編

京都における、他の地域とは異なる側面を有する「近代」にあって、美術・工芸がどのような変容をよびて現代にいたっているのか。大きく「海外との交流」「伝統と革新」「工芸と絵画」「伝統工芸の場」の視点から、様々なトピックスや人物にまつわるエピソードを取り上げ概観する。

▶A5判・300頁／本体2,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1641-3

近代京都の施薬院

八木聖弥著

明治維新から大正期にかけて、奈良時代に貧窮病者救済のために設置された「施薬院」の復興に尽力した安藤精軒(1835-1918)の活動から、「施薬院」を中心とした京都医界の歴史を描き出し、近代化していく日本の側面を考察する。

▶A5判・304頁／本体3,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1705-2

※都道府県庁舎 その建築史的考察

石田潤一郎著

明治維新以降、今日まで100件をこえる都道府県庁舎が建設されてきた。本書では、一次史料をもとに同庁舎の歴史的展開を個別にあとづけ、地方行政制度史・地域史の中で位置づけるとともに、図版史料によってその平面計画及び立面意匠の具体的な把握も試みた。収録図版200余点。

▶A5判・448頁／本体8,600円(税別)

ISBN978-4-7842-0775-6

近代日本の歴史都市 古都と城下町

高木博志編

「古都」京都・奈良、「加賀百万石」の金沢、伊達政宗の仙台など、都市は実にさまざまな歴史性をまとっている。しかしそれらは、近代化の過程で発見され、選び取られたイメージであった。本書は「都市の歴史性」をキーワードに、分野を超えた研究者たちが参加した京都大学人文科学研究所・共同研究「近代古都研究」班の成果。

▶A5判・600頁／本体7,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1700-7

北垣国道日記「塵海」

塵海研究会編

北垣国道(1836-1916)は、京都府知事に就任した明治14年(1881)から、北海道庁長官・拓殖務次官などを経て、隠棲した明治34年(1901)までの活動や人々との交流を日記に書き残した。明治期地方官の実情を記し、京都のみならず中央政府史や地方自治・土木史・北海道史研究に寄与する資料。

▶A5判・652頁／本体9,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1499-0

みやこの近代

丸山宏・伊従勉・高木博志編

平安や桃山時代がしばしば話題になる歴史都市・京都は、実は近現代に大きく変わったまちであった。京都大学人文科学研究所「近代京都研究会」で論じられたさまざまな分野の具体的な主題をもとに、近代現代の京都の根本問題を見通す視座を形成しようとする試みの85篇。

▶A5判・268頁／本体2,600円(税別)

ISBN978-4-7842-1378-8

京都の歴史災害

吉越昭久・片平博文編

歴史上、京都を襲ったさまざまな災害をとりあげ、地理情報システム(GIS)などによる災害範囲や規模の復原、特徴や被害発生社会的背景の分析、また人々の取り組みなどを論じる。地理学、歴史学、工学など多様な分野の研究者による、立命館大学G-COEプログラム「文化遺産の防災」プロジェクトの成果。

▶A5判・322頁／本体2,300円(税別)

ISBN978-4-7842-1643-7

老舗に学ぶ京の衣食住

西岡正子編

佛敎大学四条センター叢書5

古くからの技と伝統を守り継ぐ老舗。店主・女将自らの言葉で綴る「本の京都学」【掲載店】二軒茶屋中村楼・松栄堂・祇園辻利・祇をん幾岡屋・嵐山熊彦・龍善堂・半兵衛麩・松文商店・村山造酢・彩雲堂・本家尾張屋本店・上七軒大文字・京つけもの西利・泰生織物・亀末廣・いもぼう平野屋本家

▶A5判・242頁／本体1,900円(税別)

ISBN978-4-7842-1673-4

京舞井上流の誕生

岡田万里子著

京都の花街祇園に伝承され、特色的な型や伝承作品が話題にされる京舞井上流。近世から近代にいたる流派の歴史を検証し、伝承作品群の成立背景を考証する。堂上・花街文化、そして、能、人形浄瑠璃、歌舞伎といった他の芸能の影響を確認しつつ、その豊饒な母胎―近世後期京都における芸能的世界の解明に挑む。

▶A5判・552頁／本体9,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1672-7

近代日本の都市社会政策とマイノリティ

歴史都市の社会史

杉本弘幸著

近代日本の社会政策・社会福祉の受益者である社会的マイノリティはどのように政策形成に関与しようとし、政策に包摂されていったのか。政策の受益者の動向から再構成した社会政策史・社会福祉史の実証研究を提示する一書。

▶A5判・412頁／本体7,200円(税別)

ISBN978-4-7842-1789-2

近代日本〈陳列所〉研究

三宅拓也著

本書が扱う〈陳列所〉とは、地方行政によって建設された公共の陳列施設である。これらが、都市の農業・工業・商業を奨励する目的で各地に設置された経緯を検証し、制度・活動・建築を含めて都市との関わりに注目することで、明治から昭和戦前期の日本にあまねく普及した〈陳列所〉の実態を、豊富な図版とともに明らかにする。

▶A5判・640頁／本体7,800円(税別)

ISBN978-4-7842-1788-5

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。